

University College London

疫学・統計学集中講義



University College London (UCL) 疫学・公衆衛生学部の Pikhart Hynek 教授による集中講義です。テーマは、臨床試験、縦断的疫学研究など、同一の被験者から繰返しデータが観察される場合の統計手法(マルチレベルモデル)の活用です。

3月11日からのマルチレベルモデルの解説に先立ち、3月7～9日で標準的な回帰分析手法と統計解析ソフトウェアStataの導入講義があり、予備知識のない方でも無理なく受講できます。奮ってご参加ください。教員の方もFDの一環として歓迎します。

※ 併せて、3月8日の午後に、阪大で行われている疫学・臨床研究に関するワークショップを行います。実際の事例に基づいた統計解析の適用に関する議論を行いますので、こちらも是非ご参加ください。

講義日程: 2019年3月7日～15日

開催日	テーマ	9:00-10:00	10:15-11:45	13:30-14:30	14:45-16:15
3/7(木)	回帰分析	講義①	Stata実習①	講義②	Stata実習②
3/8(金)		講義③	Stata実習③	ワークショップ	ワークショップ
3/9(土)		講義④	Stata実習④	講義⑤	Stata実習⑤
3/11(月)	マルチレベルモデル	講義①	Stata実習①	講義②	Stata実習②
3/12(火)		講義③	講義④(-11:15)		
3/13(水)		講義⑤	Stata実習③	講義⑥	Stata実習④
3/14(木)		講義⑦	Stata実習⑤	講義⑧	Stata実習⑥
3/15(金)		講義⑨	Stata実習⑦	講義⑩	Stata実習⑧

講義会場: 最先端医療イノベーションセンター1階 マルチメディアホール

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

*3/12(火)は、大阪大学医学系研究科講義棟講義室A

主催: 大阪大学大学院医学系研究科 先導的学際研究の推進による新学術領域での世界最高水準の研究拠点形成事業「医学研究の高度化を支える疫学・統計学・生物情報科学・医療情報学の融合研究 - メディカルデータサイエンス研究拠点の形成 -」(研究代表者: 磯博康)

共催: 大阪大学大学院基礎工学研究科

【申し込み先・問い合わせ】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室: mkshimizu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp